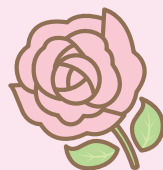


## 2016福山ばら祭 親善交流の主な行事

- 5/13(金) エフエムふくやま出演  
福山市長表敬訪問  
市立金江小学校歓迎交歓会  
歓迎交流会
- 14(土) ばら祭オープニング
- 15(日) 商店街歓迎会  
ローズパレード



### ●カザンラク市の '15バラの女王

#### ツヴェテリナ・イヴァノヴァ さん

##### <あいさつ>

ツヴェテリナ・イヴァノヴァと申します。20歳です。

カザンラク市立自然科学高等学校の生物学専攻を卒業しました。

バラの女王に選ばれ、感動と感謝でいっぱいです。バラの女王らしく、皆さんの期待に応じられるように努めます。

趣味は旅行で、海外にも数回出かけるチャンスに恵まれています。日本は2回目です。

カザンラク市のバラ祭を訪れる日本人観光客は大変親切で、明るい方ですが、日本の皆さんとその文化・生活をもっと身近に知ることを楽しみにしています。

動物が大好きで、大学では獣医の勉強をしています。思い出になる来日を心待ちにしています。



## 会 員 募 集

●**主な活動** ブルガリアへの視察、研修、交流親善等のための旅行の企画、実施・留学生の派遣、受け入れ・学術、文化、芸術、スポーツの振興をはかる活動・ブルガリアに関するイベント、物産展等の開催・国際協力など

### ●お問い合わせ

☎090-8242-2655

E-mail : info@fba.rgr.jp

NPO法人 福山ブルガリア協会

## 日本語スピーチコンテストで最優秀賞

### 福山大学の留学生 イヴェリナさん

ブルガリアからの福山大学留学生、ゲンコヴァ・イヴェリナさん(24)が、2月28日に福山市立大学で行われた外国人留学生による日本語スピーチコンテスト(外国人留学生を支援する会、ふくやま国際交流協会主催)で最優秀賞に選ばれました。



イヴェリナさんは「心を満たすスープ」とのタイトルで、自身と日本の若い男性の恋愛観の違いを述べました

#### ゲンコヴァ・イヴェリナさんのスピーチ「心を満たすスープ」の要旨

日本に来て、おもしろい単語と出会いました。それは「草食男子」でした。友達の説明で意味は分かりましたが、なぜ若者は恋愛に消極的なのか。腑に落ちず、更に調べてみたら、平成26年度内閣府の「結婚に関する意識調査」のデータを見つけました。それによると、20代、30代の未婚者の内、「恋人がほしいと思わない人は」3割以上もいます。そして彼らの「恋人がほしいと思わない理由」の第1位は「恋愛が面倒だ」とされています。恋愛は本当に面倒で負担なのでしょうか?私も恋愛経験が少ないながら、そうは思いません。苦しいときも、幸せなときも、恋人はそばにいて見守ってくれたり、サポートしてくれたりするからです。今、私には好きな人がいます。恋人と言ってよいかもしれませんが、しかし、彼は恋人である前に、まず私の良き友でもあります。(中略)

以前から私たちのいい関係をどのように表せばいいかと考えていましたが、いい言葉が見つかりませんでした。ところが、この急に冷え込んだ異国の日本の地で、ふとそれが温かい自家製スープのようだ気づいたので。なぜならば、温かくて優しい味のスープは弱まった体と心を潤い、元気づけてくれるからです。恋愛もスープと同じように、自分の好きな具材を入れて、自分の好みに味を付けられます。では、それはどのように作ればいいのでしょうか。

私のレシピはこれです。心を満たすスープを作るために、まずなべに好きな人への親しい気持ちを入れ、友情を小さじ一杯、そして自分と似ている性格を小さじ一杯入れて混ぜます。次に、理解と寛大さを加えて、じっくり火にかけます。最後に、笑顔と感謝の言葉を好みで加えると、恋のスープができあがります。こうすれば、恋人といつまでも幸せな関係でいることができます。

実は内閣府の調査でもう一つ分かったことがあります。それは「気になる人がいてもどのように声をかけてよいかわからない」、「恋愛交際の進め方がわからない」と答えた人は合わせて58.2%で、どうやらコミュニケーションにも大きな原因があるようです。それなら、日本の若者のスープには、今日の私のように、「恥をかくことを恐れず、思い切って自分の心の内をさらけ出す」勇気をスパイスとして加える必要があるかもしれません。人生において「一人」という選択肢もありますが、愛する家族がいたほうが人生はより豊かな味となるのではないかと思います。きっと一つの正解はなく、文化による違いも大きいことでしょう。私は日本での1年間の交換留学生生活の中で、できるだけ多くの人と出会い、できるだけ多くの経験をしたいと思っています。そこで人生の先輩にもたくさん出会います。そういった方々から多くのことを教えて頂きたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。ご静聴ありがとうございました。

NPO法人  
**福山ブルガリア協会**  
FUKUYAMA BULGARIA ASSOCIATION  
事務局：〒720-0803 福山市花園町2丁目6-5  
TEL050-8029-3006・FAX084-931-0293  
発行日：2016年4月16日  
<http://www.fba.rgr.jp>

# ブルガリア

BULGARIA България

No.20



香りのバラ「ダマスクローズ」



四季咲きバラ「ナデジダ(希望)」

## 友好の絆さらに深く



ゲオルギ・ヴァシレフ大使



宮地会長

本年7月に市制100周年を迎える福山市に、100本の記念のバラ苗がブルガリア共和国より贈呈されました。

4月7日に届いた苗は、市緑化センター(一文字町)に仮植えされ、秋以降、ばら公園(花園町)などに植栽される予定です。

贈られたのは、カザンラク地域で多く栽培されている優雅な香りの「ダマスクローズ」85本と、深く濃い赤の「ナデジダ(希望)」15本です。

駐日ブルガリア大使館のゲオルギ・ヴァシレフ大使からは、「100周年にブルガリアの苗木を贈ることができて嬉しい。有益な関係を深めたい」というメッセージも寄せられました。

これまでも、1998年にカザンラク市のイワン・ゴロロモフ市長が来福し、バラ苗を福山市に贈呈、2000年にはカザンラク市より緑町公園完成記念として2001本のバラ苗が贈呈されました。これらのバラは、現在、緑町公園のばら花壇などに植栽されています。



緑町公園の一角にあるブルガリアのバラコーナー

市政100周年の福山市へ贈呈

ブルガリアから100本のバラ